

# しょうけん通信

2021. 新春号

発行：柳松建 令和3.1.20  
日置市東市来町湯田2283番地  
TEL099-274-2926

あけましておめでとございます。本年もよろしくおねがいたします。



昨年暮れと年明け9日位の雪はどうだったでしょうか？山間部では積もったところもあるようですが天気予報からすれば幸い、あまり積もらなかったようです。地球温暖化と叫ばれつつも寒いときにはしっかり寒いんだなと・・・（寒暖の差が激しいですね）  
相変わらず**新型コロナ**が猛威を振るっていますが・・・ニュースに出てからはや一年だそうで、そう言えば一年早いもんだなと思いにふける？この一月です。

この「しょうけん通信」、お気づきかと思いますが奇数月の発行なんです。原稿書いて終わったと思ったらもう次を考えなきゃいけないと・・・そんな繰り返して一年が過ぎていきます（汗）

コロナ禍の影響で催事が中止や延期で旅行記事もかけずネタに苦しんでいます、あまり興味のない記事でも**温かい目**で見てください。なにはともあれ2021年の始まりです。気負わず「ぼちぼち」行きましょう。

## 最近の気になるニュース

### 大学入学共通テスト（だいがくにゆうがくきょうつうテスト）

「大学入学共通テスト」は2020年度まで30年にわたり実施されてきた「大学入試センター試験」（センター試験）の後継にあたる試験です。今年2021年が初の実施となります。なにが変わったかという・・・小中高校生がまさに目まぐるしく変わる社会に対し、またさらに高度になる情報化社会に対処できるように「高校教育」「大学教育」それをつなぐ「大学入試」を三位一体で改革していこうということのようです。（・・・難しい）

これまでの「知識、技能」のテストからさらに「思考力、判断力、表現力」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」をバランスよく評価するための改革・・・だそうです。（汗）

共通一次試験（懐かしい・・・）世代から見れば問題もかなり多様化しているようですし、勉強のほうもいろんなことを学ばないと対応できない試験になってきています。

なんか入試制度も年度ごとに変化してきているので今の高校生は大変だなと・・・（他人事ですみません）

まさにこれからが入試本番です。コロナ禍の中大変ですが体調には気をつけて頑張ってもらいたいです。



## 日置市史跡巡り

### 堂平窯跡

その5

(どひらがまあと)



東市来町美山地区

苗代川で築かれた最も古い窯跡と考えられている。窯の構造は朝鮮系単室傾斜窯とされている。西回り自動車道の建設に伴い発掘され移設保存された。

日置市HPより

## スマホ脳

著者：アンデシユ  
訳：久山葉子  
出版社：新潮社



平均で一日四時間、若者の二割は七時間も使うスマホ。だがスティーブ・ジョブズを筆頭に、IT業界のトップはわが子にデジタル・デバイスを与えないという。なぜか？睡眠障害、うつ、記憶力や集中力、学力の低下、依存—最新研究が明らかにするのはスマホの便利さに溺れているうちにあなたの脳が確実に蝕まれていく現実だ。

E-honより

## 天空の結婚式

劇場公開日 2021年1月22日

シネマぱらだいす



イタリアの観光地チヴィタ・ディ・パニョレージョを舞台に、ゲイカップルの結婚式をめぐる大騒動を描いたオフ・ブロードウェイの大ヒット舞台を、イタリアコメディ映画界の重鎮アレクサンドロ・ジェノベーゼが映画化。  
ベルリンに暮らすアントニオは、役者仲間と恋人のパオロにプロポーズし、2人は結婚を決意する。しかし、パオロはゲイであることをカミングアウトして以来、母親とは疎遠状態になっていた。一方のアントニオは両親にカミングアウトと同時に結婚の意志を伝えるため、イタリアで村長を務める父と母のもとに行こうとするが……。

映画.comより

## おすすめレシピ

### 鶏胸肉のみそマヨ焼き

#### 材料（2人分）

- 鶏むね肉 1枚 250g
- A (酒 小さじ1 塩・こしょう少し)
- 片栗粉 適量
- ごま油 大さじ1
- B (みそ、マヨネーズ各大さじ1/2 砂糖、酒各大さじ1)
- レタス 太めの千切り 適量
- いりごま

- 鶏肉は全体をフォークで刺し1cm厚さのそぎ切りにする。Aをもみ込み、片栗粉をまぶす。Bは合わせておく。
- フライパンにごま油を中火で熱し、鶏肉を焼く。焼き色がついたら裏返してフタをし、弱めの中火で2分30秒蒸し焼きにする。
- Bを加えて煮からめ、レタスを敷いた器に盛り、ゴマをふる。

鶏胸肉が驚くほどおいしくなる絶品レシピ。レタスの上のせれば、サラダ代わりになり、一品でボリューム満点です。ご飯にのせてどんぶりにしてもおいしいですよ。

ESSEより

## この建築家

知っていますか？

いよいよ始まりました？新連載「知っていますか？この建築家」  
リフォーム企画も一巡したことであまり一般には知られていないだろうと思われる「建築家」について紹介したいと思います。「建築家」とは一般的には建築における建物の設計や工事の監理などを職業とする専門家のことです。（※1）

### その1 前川 國男(まえかわ くにお) (1905-1986)

所属 前川國男建築設計事務所

モダニズム建築（機能主義、合理主義）の旗手として、第二次世界大戦後の日本建築界をリードしました。当時ヨーロッパからすれば前近代的だった日本に、近代建築を根付かせることに尽力し、作風は均等、工業化、機能主義の特徴があります。

なによりも「建築家」としての職能と職業倫理の確立のために尽力したことにつきます。作品としては「前川國男邸」「東京文化会館」「埼玉県立博物館」など。

東京海上ビルディング（現東京海上日動ビルディング本館）の建設では当初130mの超高層ビルとして構想されていましたが「皇居を見下ろすことはけしからん」などの配慮があったために高さを99.7mにすることで建設された経緯があります。

母の生家が青森県弘前市だったため前川の手がけた建築物が多数存在する。（弘前市役所、弘前市役所、弘前市立病院など）

なおこのあとシリーズに出てくる建築家「丹下健三」「木村俊彦」らは前川事務所出身です。

※1日本では「建築士」とは違い資格などは必要ありません。

※2他の法的な理由もあるようです。

※画像はWikipediaより

※掲載してある建築物は名称が変わっているもの、現存しないものもあります。



前川國男邸

## 建設豆知識

### その11 大工 (だいく)



新築やリフォームなどでお世話になる大工さんですがあまり由来など知っている方は少ないと思います。身近にいる「大工さん」の雑学を少し掘り下げてみたいと思います。

**大工(だいく)**とは主として木造建造物の新築や改修、修理などを行う職人のことです。かつては一般の木造建築の職人を「右官」とよんでいましたが江戸時代ごろから一般の職人も大工と呼ばれ、統率者のことを「棟梁」と呼ぶようになりました。（右官については次回にゆずります）聖徳太子の時代、都造りのため天皇のそばで建築の「木」に関わる

職を「右官」、土に関わる「左官」とよんでいたそうです。ちなみに最近「意匠」という言葉がよくつかわれますが匠（大工）が意図する（考える）という意味があるようです。

また大工も専門とする建物（構造物）によって違いがあり神社仏閣などの専門の「宮大工」、茶室などを手がける「数寄屋大工」、障子やふすまなどを製作する「建具大工」などなど・・・

ただ大工さんの数は減少の一途をたどり2015年には約35万人でしたが2030年には21万人になるといわれています。大工さんに限らず「職人」の数の減少も深刻でこのままいくと「技術」や「知識」の継承などに支障をきたしていくと思われれます。

（現在でもすでに危うい部分もありますが・・・）

## -現場より-

## HK様邸 完成しました

前回は紹介した「HK」様邸ですが、無事昨年の12月中旬引き渡しを終えました。「敷地や前面道路に少し制約があった土地です」と書かしてもらいましたが、中に入ると床面積29坪とは思えない広がりのある間取りになっています。

床は杉の「浮造り」、壁天井は「漆喰」を採用し自然素材にこだわった内装になっています。12月上旬に見学会をさせて頂きましたが「浮造り」と「漆喰」の温もりにふれて頂いたと思います。

「コロナ禍」のなか、家にいる時間が長くなり多少なりともストレスを感じやすくなることが多くなりますが、こういった自然素材は性能もさることながら気分も和らげてくれるのではないのでしょうか。



## 梅を見に行きたいなあ!!



藤川天神の梅

「〇〇〇に行きたいなあ」の第3弾です。

コロナ禍で県外に出るのを遠慮してる人も、県をまたがずに安心して行ける換気のいいところを今回は紹介します。

左は昨年2月に藤川天神に行った時の写真です。学問の神様として知られている菅原道真公が没した神社なのは有名ですよ。別名「菅原神社」です。

少し肌寒いですが、梅は2月末が一番の見ごろですよ。藤川天神の梅はその幹を地上に伏せ、その姿がまるで竜のように見えることから「臥竜梅(がりゅうばい)」と呼ばれています。

続いて足を延ばして「曾木の滝」に行ってきました。25年ぶりの訪問でしたが、そんなに変わってないような気が・・・

散策コースをぶらぶらして、マイナスイオンを浴び、お土産屋さんでお買い物です。私は行ってないのですが、滝のほかにも「新曾木大橋」「曾木発電所遺構」（夏の展望所より見学）があるらしいです。



つるだ特産品販売所 自慢館

帰りには「つるだ特産品販売所 自慢館」という物産館があります。私のおすすめは「ひらめき」という七味です。

小みかん入りの七味です。辛いのが苦手な私でも食べれる柑橘のさわやかな七味です。県内で遊びもいいですよ～



曾木の滝



新曾木大橋